

(5) 行動計画策定時の情報収集：人口規模が同程度の自治体の事例

	5千人未満	1万～2万人程度	5万人前後	10万人程度	20-30万人程度	50万人以上	合計
非選択	71.8%	78.9%	81.3%	75.2%	72.7%	77.8%	77.7%
選択	28.2%	21.1%	18.7%	24.8%	27.3%	22.2%	22.3%
合計	78	256	267	121	99	27	848

(6) 行動計画策定時の情報収集：新聞や雑誌で取り上げられた自治体の事例

	5千人未満	1万～2万人程度	5万人前後	10万人程度	20-30万人程度	50万人以上	合計
非選択	92.3%	94.9%	90.3%	87.6%	88.9%	92.6%	91.4%
選択	7.7%	5.1%	9.7%	12.4%	11.1%	7.4%	8.6%
合計	78	256	267	121	99	27	848

(7) 行動計画策定時の情報収集：NPO や大学・学術学会等が主催するセミナーやシンポジウム

	5千人未満	1万～2万人程度	5万人前後	10万人程度	20-30万人程度	50万人以上	合計
非選択	100.0%	99.2%	98.5%	90.9%	87.9%	96.3%	96.5%
選択		0.8%	1.5%	9.1%	12.1%	3.7%	3.5%
合計	78	256	267	121	99	27	848

(8) 行動計画策定時の情報収集：住民ニーズ調査の結果

	5千人未満	1万～2万人程度	5万人前後	10万人程度	20-30万人程度	50万人以上	合計
非選択	33.3%	19.5%	12.4%	6.6%	10.1%		15.0%
選択	66.7%	80.5%	87.6%	93.4%	89.9%	100.0%	85.0%
合計	78	256	267	121	99	27	848

(9) 行動計画策定時の情報収集：その他

	5千人未満	1万～2万人程度	5万人前後	10万人程度	20-30万人程度	50万人以上	合計
非選択	97.4%	98.4%	97.4%	95.0%	87.9%	88.9%	96.0%
選択	2.6%	1.6%	2.6%	5.0%	12.1%	11.1%	4.0%
合計	78	256	267	121	99	27	848

問 36 大学や学術学会が主催する、自治体における子ども・子育て施策をテーマとしたセミナーやシンポジウムが近隣で開催されるとしたら、参加したいですか。回答者のお考えで構いませんので、あてはまる番号に○をつけてください。

	5千人未満	1万～2万人程度	5万人前後	10万人程度	20-30万人程度	50万人以上	合計
内容によっては参加したい	42.7%	59.8%	68.2%	74.8%	84.8%	80.8%	66.4%
参加したいとは思わない	9.8%	6.5%	3.0%	3.3%	4.0%		4.8%
勤務の都合上、参加は難しい	47.6%	33.7%	28.8%	22.0%	11.1%	19.2%	28.8%
合計	82	261	264	123	99	26	855

厚生労働科学研究費（課題番号 H20-政策-一般-008）
「家族・労働政策等の少子化対策が結婚・出生行動に及ぼす効果
に関する総合的研究」

次世代育成支援対策推進法に基づく 前期行動計画の事業実績 に関する自治体調査

平成22年8月11日

（調査実施）少子化研究会
（研究助成）厚生労働省

自治体の皆様へ

このたびは、調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

この調査は、厚生労働科学研究費「家族・労働政策等の少子化対策が結婚・出生行動に及ぼす効果に関する総合的研究」（課題番号 H20-政策-一般-008）のプロジェクトの一環として行なわれています。住民にもっとも近い現場で次世代育成支援対策を実施している全国の市町村および特別行政区を対象として、次世代育成支援対策推進法に基づく前期行動計画の事業実績をお聞きすることによって、今後の施策展開に資する基礎資料を作成したいと考えております。また、地域の人口動向と政策の関連や、次世代育成支援対策のあり方について分析・比較検証し、自治体にとっての有効な対策をとりまとめ、政策提言することを目的としております。

本調査の設問は、客観的なデータに基づきご回答いただけるものと、記入者のお考えや現場感覚をある程度考慮してご回答いただくものと2種類ございます。集計・分析ではこの2つの設問の特徴を区別し、主観的回答が入る設問は、数字での統計的処理のみ行いますので、率直なご意見をお聞かせください。

以上、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

9月30日（木）までに

ご投函くださいますよう、お願いいたします。

調査に関するご説明

【調査対象】

全国 1727 市町村、23 特別行政区（2010 年 4 月 1 日現在）

【調査のしくみ】

調査は、郵送法により実施いたします。調査の企画から配布・回収、データ入力、分析まで、すべて本調査プロジェクトメンバーによって行います。

○少子化研究会メンバー

- 安藏 伸治（明治大学政治経済学部教授）
- 守泉 理恵（国立社会保障・人口問題研究所主任研究官）
- 増田 幹人（内閣府政策企画専門職）
- 鎌田 健司（国立社会保障・人口問題研究所客員研究員）

【データの分析概要】

次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の前期計画を実施し終え、その事業実績についての実態把握を行うとともに、とりわけ保育事業の拡充が女性の就業や出生動向にどのような影響を及ぼしたかについて、社会経済的な要因を考慮したマクロ推計モデルを用いてその政策効果を分析することを考えております。

【調査結果のフィードバックについて】

下記サイトアドレスに、本調査の情報を提供するホームページを開設し、調査結果など最新情報を掲載いたします。また、調査・分析終了時（2011 年 3 月）には、調査にご協力いただいた自治体に調査報告書をお送りさせていただきます。

【お問い合わせ先】

本調査の詳細情報、調査結果等につきましては、ホームページをご覧ください。その他のお問い合わせは、ホームページ上よりメールにて受け付けております。

◇ 次世代育成支援対策に関する自治体調査ホームページ

<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~kkamata/index.html>

◇ 少子化研究会事務局

国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 6F
TEL. 03-3593-2984（代表） 担当：鎌田

【フェイスシート】

F 1 都道府県・市区町村名と地域コード（総務省指定）をご記入ください。

都道 府県	市区 町村	地域コード：
----------	----------	--------

F 2 2000 年以降、貴自治体は市町村合併を経験しましたか。合併した場合、直近の合併年とその内訳をご記入ください。

市町村合併の有無	旧市町村名
1. 合併した（ ____ 年） →	
2. 合併はしていない	

F 3 貴自治体で、次世代育成支援対策の担当部署はどこですか。部署名と、後日、本調査の報告書をお送りする際に宛先としてよいメールアドレスをご記入ください。

1. 部署名	
2. メールアドレス	

問1 貴自治体の2005年以降の人口数は、どのような過程にありますか（2005年以降合併した自治体はそれ以後の動向）。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 人口は増加傾向にある
2. 人口はほぼ横ばいで推移している
3. 人口は減少傾向にある |
|--|

問2 貴自治体では、2005年以降、以下のような人口の動きはありますか（2005年以降合併した自治体はそれ以後の動向）。各項目について、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。1～8以外に特徴的な人口関係の動きがありましたら、「その他」にご記入ください。

人口動向の内容	ほとんど起きていない	あまり起きていない	どちらかといえば起きている	ある程度起きている	かなり起きている
1. 未婚化・晩婚化の進展	1	2	3	4	5
2. 高齢化の進展	1	2	3	4	5
3. 独身若年層の転出	1	2	3	4	5
4. 独身若年層の転入	1	2	3	4	5
5. ファミリー層の転出	1	2	3	4	5
6. ファミリー層の転入	1	2	3	4	5
7. 高齢者の転出	1	2	3	4	5
8. 高齢者の転入	1	2	3	4	5
9. その他（ ）				4	5

問6 貴自治体では、2005年以降、以下のような地域環境の変化はありますか（2005年以降合併した自治体はそれ以後の動向）。各項目について、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。11、12については回答者のお考えで構いません。1～12以外に特徴的な変化がありましたら、「その他」にご記入ください。

人口動向の内容	該当しない	あまり該当しない	どちらかといえば該当する	ある程度該当する	かなり該当する
1. 主要産業の縮小・転出	1	2	3	4	5
2. 雇用機会の減少	1	2	3	4	5
3. 地価・住宅価格・家賃の上昇	1	2	3	4	5
4. 公園・遊び場の減少	1	2	3	4	5
5. 公共交通手段（電車・バス）の減少	1	2	3	4	5
6. 高校以上の教育機関の減少	1	2	3	4	5
7. 産科のある医療機関の減少	1	2	3	4	5
8. 小児科のある医療機関の減少	1	2	3	4	5
9. 保育所の待機児童の増加	1	2	3	4	5
10. 学童保育の待機児童の増加	1	2	3	4	5
11. 地域の付き合いの希薄化	1	2	3	4	5
12. 治安に対する不安の増大			3	4	5
13. その他（ ）					

問7 貴自治体の2005年以降の出生率（2000年以降合併した自治体は、それ以後の動向）は、どのような過程にありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 出生率は上昇傾向にある
2. 出生率はほぼ横ばいで推移している
3. 出生率は低下傾向にある |
|---|

問8 貴自治体の2005年から2009年までの出生数および合計（特殊）出生率につきまして、以下にご記入ください。

年次	出生数（人）	合計（特殊）出生率
平成17(2005)年		
平成18(2006)年		
平成19(2007)年		
平成20(2008)年		
平成21(2009)年		

問9 2010年度から後期行動計画が実施されますが、その結果、貴自治体の今後の合計特殊出生率はどのように推移していくとお考えですか。上昇または低下とお答えの場合、おおよその数値でけっこうですので、考えられる予測値も記入してください。

1. 出生率は上昇していく 2. 出生率は低下する 3. 出生率はほぼ横ばいで推移する	}	→	合計特殊出生率の 予測値（2014年） _____
---	---	---	---------------------------------

問10 貴自治体では、今後の出生率について目標値の設定をしていますか。また、自治体において住民数の将来人口推計を行っている場合、合計特殊出生率の将来推計値を得られますが、そうしたデータはお持ちですか。あてはまる場合、目標値や推計値をご記入ください。

<p style="text-align: center;">(1) 目標値の設定有無</p> <table border="1"> <tr> <td> 1. 目標値は設定していない 2. 目標値を設定している </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">_____（_____年）</p>	1. 目標値は設定していない 2. 目標値を設定している	<p style="text-align: center;">(2) 推計値の有無</p> <table border="1"> <tr> <td> 1. 将来人口推計は行っていない 2. 将来人口推計を行い、出生率推計値がある </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">_____（_____年） ※推計最終年次のもの</p>	1. 将来人口推計は行っていない 2. 将来人口推計を行い、出生率推計値がある
1. 目標値は設定していない 2. 目標値を設定している			
1. 将来人口推計は行っていない 2. 将来人口推計を行い、出生率推計値がある			

【ここからは、前期行動計画の事業実績についておたずねします】

問11 前期行動計画において、政策全体の評価のために、何らかの評価指標を設定して
いましたか。設定していた場合、その具体的内容もご記入ください。

(1)全体の評価指標の設定有無	(2)評価指標の内容
1. 設定していた 2. 設定していない	

以下は、個別の事業の実施有無等についておたずねします。

問12 認可保育園の保育定員数拡大につきまして、

- 1) 事業実施の有無、および実施している場合その開始年(西暦)をご記入ください。
- 2) 最終年度(平成21年度)までに目指す数値目標の設定有無、および設定していた場合その目標値をご記入ください。
- 3) 平成16年度(2004年)と21年度(2009年)の実績値をご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問13へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値(定員 _____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成16年(_____ 人)	2. 平成21年(_____ 人)

問13 一時保育の定員数につきまして、問12と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問14へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値(定員 _____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成16年度(_____ 人)	2. 平成21年度(_____ 人)

問14 延長保育の定員数につきまして、問12と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問15へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値(定員 _____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成16年度(_____ 人)	2. 平成21年度(_____ 人)

問 15 休日保育の定員数につきまして、問 12 と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問 16 へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (定員 _____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3 の実績値へ
3 実績値	1. 平成 16 年度 (_____ 人)	2. 平成 21 年度 (_____ 人)

問 16 夜間保育の定員数につきまして、問 12 と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問 17 へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (定員 _____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3 の実績値へ
3 実績値	1. 平成 16 年度 (_____ 人)	2. 平成 21 年度 (_____ 人)

問 17 病児・病後児保育の定員数につきまして、問 12 と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問 18 へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (定員 _____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3 の実績値へ
3 実績値	1. 平成 16 年度 (_____ 人)	2. 平成 21 年度 (_____ 人)

問 18 家庭的保育(保育ママ)の定員数につきまして、問 12 と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問 19 へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (定員 _____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3 の実績値へ
3 実績値	1. 平成 16 年度 (_____ 人)	2. 平成 21 年度 (_____ 人)

問 19 認定子ども園の設置箇所数につきまして、問 12 と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問 20 へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (_____ 箇所)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3 の実績値へ
3 実績値	1. 平成 16 年度 (_____ 箇所)	2. 平成 21 年度 (_____ 箇所)

問20 放課後児童健全育成事業の定員数につきまして、問12と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問21へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (定員 _____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成16年度 (_____ 人)	2. 平成21年度 (_____ 人)

問21 放課後子ども教室推進事業の設置箇所数につきまして、問12と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問22へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (_____ 箇所)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成16年度 (_____ 箇所)	2. 平成21年度 (_____ 箇所)

問22 出産祝い金の支給件数につきまして、問12と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問23へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (_____ 件)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成16年度 (_____ 件)	2. 平成21年度 (_____ 件)

問23 不妊治療助成事業の支給件数につきまして、問12と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問24へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (_____ 件)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成16年度 (_____ 件)	2. 平成21年度 (_____ 件)

問24 お見合い事業の参加人数につきまして、問12と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問25へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (_____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成16年度 (_____ 人)	2. 平成21年度 (_____ 人)

問 25 子育て支援に熱心な企業の認定・表彰の認定・表彰企業数につきまして、問 12 と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問 26 へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (_____ 件)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成 16 年度 (_____ 件)	2. 平成 21 年度 (_____ 件)

問 26 子育て支援に熱心な企業への経済的支援（奨励金等）の支給件数につきまして、問 12 と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↓ ↳ (西暦) _____ 年から 事業内容 (_____)	2. 実施していない ↳ 問 27 へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (_____ 件)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成 16 年度 (_____ 件)	2. 平成 21 年度 (_____ 件)

問 27 ファミリー向け賃貸住宅の助成件数につきまして、問 12 と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↳ (西暦) _____ 年から	2. 実施していない ↳ 問 28 へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (_____ 件)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成 16 年度 (_____ 件)	2. 平成 21 年度 (_____ 件)

問 28 子どもの医療費助成の対象者数につきまして、問 12 と同様にご記入ください。

1 事業実施の有無	1. 実施している ↓ ↳ (西暦) _____ 年から ※支給対象年齢 (_____ 歳まで) ・助成範囲 (1. 全額 2. 一部)	2. 実施していない ↳ 問 29 へ
2 事業数値目標の設定有無	1. 数値目標をたてた ↳ 目標値 (_____ 人)	2. 数値目標はたてていない ↳ 3の実績値へ
3 実績値	1. 平成 16 年度 (_____ 人)	2. 平成 21 年度 (_____ 人)

※支給対象年齢および助成範囲につきましては、入院・通院で異なる場合は、通院の場合をご記入ください。

【ここでは、後期行動計画についておたずねします】

問 29 後期行動計画において重点ポイントを設定していますか。設定している場合、以下の選択肢から該当する項目を優先度の高い順に3つ、回答欄に番号をご記入ください。特に優先度を付けていない場合は、数字を3つ選んで記入した上で、「優先度付けなし」に✓をしてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 待機児童対策（保育定員・放課後健全育成事業定員の拡充など） |
| 2. ワーク・ライフ・バランスの推進（育休の推進・夫の家事参加など） |
| 3. 企業への直接支援（セミナーの開催・経済的支援など） |
| 4. 未婚者支援（お見合い・セミナーの開催など） |
| 5. 親育て支援（セミナーの開催・など） |
| 6. 定住対策（ファミリー向け住宅の創設・助成金支給など） |
| 7. 地域コミュニティの強化（放課後子ども教室へのボランティアの活用など） |
| 8. 要保護児童対策（虐待防止に関する取組など） |
| 9. その他（具体的に_____） |
| 10. 重点ポイントは設定していない |

【回答欄】

1 番 目		2 番 目		3 番 目	
-------	--	-------	--	-------	--

優先度付けなし

【ここでは、待機児童の発生要因と対策についておたずねします】

問 30 貴自治体におきまして、平成 22 年 4 月 1 日時点で認可保育園の待機児童は発生しましたか。あてはまる数字に○をつけてください。発生した場合、その実数もご記入ください。

1. 待機児童は発生した（_____人）→	問 31 へ
2. 待機児童は発生していない →	問 33 へ

問31 待機児童の発生要因として、A) 保育の需要要因、B) 保育の供給要因、C) 需給のミスマッチ要因の3つが考えられますが、貴自治体ではいかがでしょうか。それぞれあてはまる数字に○をつけてください。

		1. あてはまらない	2. あまりあてはまらない	3. どちらでもない	4. ある程度あてはまる	5. あてはまる
A. 保育の需要要因						
1	母親の就業が増えたことによる入所希望児童の増加	1	2	3	4	5
2	ファミリー層の転入・流入による児童の増加	1	2	3	4	5
3	出生率の回復による乳幼児の増加（0-2歳児）	1	2	3	4	5
4	マンション建設等による一時的・局所的な需要増加	1	2	3	4	5
5	ひとり親家庭の増加	1	2	3	4	5
B. 保育の供給要因						
6	保育需要にみあった、新設の保育所ができない	1	2	3	4	5
7	保育需要にみあった、定員増を行うことができない	1	2	3	4	5
C. 保育に関する需給のミスマッチ						
1	入所希望児の年齢（とくに低年齢児）についてのミスマッチが生じている	1	2	3	4	5
2	入所希望児の居住地についてのミスマッチが生じている	1	2	3	4	5

問32 待機児童の解消が困難な理由として、あてはまる数字に○をつけてください。

待機児童解消が困難な理由		1. あてはまらない	2. あまりあてはまらない	3. どちらでもない	4. ある程度あてはまる	5. あてはまる
1	財政的に困難	1	2	3	4	5
2	将来的な児童数減少を懸念	1	2	3	4	5
3	用地取得が困難	1	2	3	4	5
4	区の行政運営上の理由	1	2	3	4	5
5	民間施設とのすみ分け	1	2	3	4	5

【ここでは、次世代育成支援対策の有効度についておたずねします】

問 33 貴自治体において、以下の施策の次世代育成支援対策としての有効度は、どの程度あるとお考えですか（現在行っていない施策は、実施した場合を想定）。回答者のお考えでけっこうですので、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

事業名	次世代育成支援対策としての有効度 ←有効でない・・・有効である→					
1. 通常保育	1	2	3	4	5	6
2. 一時預かり（一時保育）	1	2	3	4	5	6
3. 延長保育	1	2	3	4	5	6
4. 休日保育	1	2	3	4	5	6
5. 夜間保育	1	2	3	4	5	6
6. 病児・病後児保育	1	2	3	4	5	6
7. 家庭的保育（保育ママ）事業	1	2	3	4	5	6
8. 認定子ども園	1	2	3	4	5	6
9. 放課後児童健全育成事業	1	2	3	4	5	6
10. 放課後子ども教室推進事業	1	2	3	4	5	6
11. 出産祝い金の支給	1	2	3	4	5	6
12. 子どもの医療費助成	1	2	3	4	5	6
13. 不妊治療助成事業	1	2	3	4	5	6
14. お見合い事業	1	2	3	4	5	6
15. 子育て支援に熱心な企業の認定・表彰	1	2	3	4	5	6
16. 子育て支援に熱心な企業への経済的支援	1	2	3	4	5	6
17. ファミリー向け賃貸住宅への助成	1	2	3	4	5	6

問 34 行動計画の策定・運用・進行管理を行うに当たって、現場で感じておられる問題点がございましたら、ご自由にご記入ください。

【ここでは、自治体の情報収集についておたずねします】

問 35 貴自治体で前期・後期行動計画策定時に、法律条文や厚生労働省から出された指針等以外に参考になさった情報はありますか。以下から当てはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 子ども未来財団「行動計画の手引き」
2. 都道府県の事例
3. 行動計画の先行策定市町村の事例
4. 近隣の自治体の事例
5. 人口規模が同程度の自治体の事例
6. 新聞や雑誌で取り上げられた自治体の事例
7. NPO や大学・学会等が主催するセミナーやシンポジウム
8. 住民ニーズ調査の結果
9. その他（具体的に_____）

問 36 大学や学会が主催する、自治体における子ども・子育て施策をテーマとしたセミナーやシンポジウムが近隣で開催されるとしたら、参加したいですか。回答者のお考えで構いませんので、あてはまる番号に○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none">1. 内容によっては参加したい2. 参加したいとは思わない3. 勤務の都合上、参加は難しい	→	<p>テーマやセミナーの形式等で希望がありましたらご自由にお書きください。</p> <p>()</p>
---	---	--

問 37 次世代育成事業対策や子ども・子育て対策関連の施策を策定する際に、もしあれば情報収集源として便利だと思うものがあれば、ご自由にお書きください。

長時間ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて9月30日(木)までにご投函ください。2010年度末までに、調査結果と分析結果をまとめた報告書をお送りいたします。

